

NPO法人市民活動情報センター主催

第3回教育創生フォーラム

-人が育み、仕事を育み、地域を育む学び合いと協働-

開会挨拶・趣旨説明

(2023年2月23日、Zoomウェビナー開催)

NPO法人市民活動情報センター代表理事
愛知東邦大学経営学部准教授

今瀬 政司

第1回教育創生フォーラム (2020年10月 終了)

- テーマ：人が幸せになる学びと教育の創生をめざして
 - 社会・経済問題の根源は「人」、解決するのも「人」
⇒「人」の力が弱まる傾向 ⇒「人」の成長が必要
 - 人は何のために「学び」「教育」をするのか
 - 「人が幸せ」になるため、「人を幸せ」にするため
 - この原点がブレると、良い「学び」「教育」はできない
 - 原点に立ち返り、新たなあり方を検討・問題提起
 - ✓ 学びと教育の方法、教育制度、教育機関と企業・行政・NPO等の人材育成、リカレント教育など

教育創生フォーラム

ー人が幸せになる学びと教育の創生をめざしてー

日時: 2020年10月31日(土) 日程変更、対面からオンライン録画配信に変更

主催: NPO法人市民活動情報センター 参加費: 無料

後援: 文部科学省、愛知県教育委員会、名古屋市教育委員会、
愛知県、名古屋市、愛知東邦大学、人を大切にする経営学会

坂本 光司(人を大切にする経営学会会長、元法政大学大学院教授)

武藤 久慶(文部科学省高等教育局企画官(併)高等教育政策室長)

加藤 明彦(愛知中小企業家同友会会長、エイベックス(株)会長)

今瀬 政司(市民活動情報センター代表理事、愛知東邦大学准教授)



坂本 光司



武藤 久慶



加藤 明彦



今瀬 政司

第2回教育創生フォーラム (2022年2月 終了)

● テーマ: 人が幸せになる大学の創生をめざして

➤ 「大学」の教育と研究に焦点を当てる

- 最高学府たる大学の「社会的存在意義」が問われ、変化を求められている

➤ 第1回フォーラムでの「問題提起」を深掘りして議論

- 「解決の糸口」を探る
- 10年後を目標とした「新たな大学像の創生」をめざす

➤ 各登壇者からの講演「問題提起」⇒ ディスカッション

【論点1】人が幸せになる「大学教育の質保証」のあり方

【論点2】人が幸せになる「大学教員」のあり方

【論点3】人が幸せになる「大学経営」のあり方

第2回教育創生フォーラム

一人が幸せになる大学の創生をめざして

日時: 2022年2月26日(土) 対面からオンライン録画配信に変更

主催: 市民活動情報センター 協力: 愛知東邦大学今瀬研究室

後援: 文部科学省、愛知県教育委員会、名古屋市教育委員会、
愛知県、名古屋市、人を大切にする経営学会

坂本 光司(人を大切にする経営学会会長、元法政大学大学院教授)
柿澤 雄二(文部科学省高等教育局企画官(併)高等教育政策室長)
加藤 明彦(中小企業家同友会全国協議会副会長、エイベックス(株)会長)
今瀬 政司(市民活動情報センター代表理事、愛知東邦大学准教授)



坂本 光司



柿澤 雄二



加藤 明彦



今瀬 政司

第3回教育創生フォーラム【開催趣旨】

- テーマ：人が育み、仕事を育み、地域を育む学び合いと協働
 - 「人が幸せになる学びと教育の創生」のあり方
(第1回と第2回のフォーラムで検討)をベースに
「地域」での学びと教育に焦点を当てて議論
(5人の講演とパネルディスカッション)
 - 10年後の地域社会・地域経済を承継する
「若者」(大学生・高校生等)が「地域」での実践学習で
自らを育むと共に、地域の仕事を育むための
「学び合いと協働」の場と仕組みの創り方を検討、
次代への希望と元気が出るような提案を行う

第3回教育創生フォーラム

－人が育み、仕事を育み、地域を育む学び合いと協働－

日時:2023年2月23日(木・祝) 主催:NPO法人市民活動情報センター

共催:地域活性学会東海支部・離島振興部会、愛知東邦大学今瀬研究室

後援:文部科学省、愛知県教育委員会、名古屋市教育委員会、
愛知県、名古屋市、人を大切にする経営学会、日本離島研究会

大江 和彦(島根県海士町長)

柿澤 雄二(文部科学省高等教育局企画官(併)高等教育政策室長)

清水 秀樹(長野県売木村長)

鵜飼 宏成(名古屋市立大学学長補佐・大学院経済学研究科教授)

今瀬 政司(市民活動情報センター代表理事、愛知東邦大学准教授)

吉岡 慎一(市民活動情報センター副代表理事、地域循環共生社会連携協会事業部長)

オンラインZoomウェビナー開催(無料) <http://sicnpo.jp/forum230223/>



大江 和彦



柿澤 雄二



清水 秀樹



鵜飼 宏成



今瀬 政司



吉岡 慎一

登壇者からの取組報告・問題提起等（講演）

- 大江和彦（島根県海士町長）
「人が育み、仕事を育む学びの島づくり」
- 柿澤雄二（文部科学省高等教育局企画官(併)高等教育政策室長）
「人が育み、仕事を育み、地域を育む高等教育政策」
- 清水秀樹（長野県売木村長）
「人が育み、仕事を育む走る村づくり」
- 鵜飼宏成（名古屋市立大学学長補佐・大学院経済学研究科教授）
「人が育み、仕事を育み、地域を育む大学実務家教員養成」
- 今瀬政司（市民活動情報センター代表理事, 愛知東邦大学准教授）
「人が育み、仕事を育み、地域を育む
売木村・愛知東邦大学学び合い協働事業」

パネルディスカッションの3つの論点

※第1回・第2回フォーラムの検討を踏まえながら、
第3回フォーラムでの「各登壇者の取組報告・問題提起等（講演）」
をベースに、下記3つの論点を柱にして議論

【論点1】“若者が自らを育む”地域と大学・学校の
「学び合いと協働」の場や仕組みの創り方

【論点2】“若者が仕事を育む”地域と大学・学校の
「学び合いと協働」の場や仕組みの創り方

【論点3】“若者が地域を育む”地域と大学・学校の
「学び合いと協働」の場や仕組みの創り方

NPO法人市民活動情報センター主催

第3回教育創生フォーラム

-人が育み、仕事を育み、地域を育む学び合いと協働-

基調報告

人が育み、仕事を育み、地域を育む
売木村・愛知東邦大学学び合い協働事業

(2023年2月23日、Zoomウェビナー開催)

NPO法人市民活動情報センター代表理事
愛知東邦大学経営学部准教授

今瀬 政司

目 次

1. 地域での学びと教育の創生
で必要な「学び合いと協働」
2. 人が育み、仕事を育み、地域を育む
2021年度「売木村・愛知東邦大学学び合い協働事業」
3. 「人が育み、仕事を育み、地域を育む学び合いと協働」
での3つの提言

1. 地域での学びと教育の創生 に必要な「学び合いと協働」

地域での学びと教育の創生に必要な「学び合い」

- 「学ぶ」「教える」から「学び合い」(相互性)へ
 - 一方的に「学ぶ」「教える」関係でないこと
 - 「利用」する(される)関係でないこと
 - 「学び合い」で互いに「成長・発展し合う」関係へ
- 地域と大学・学校の「学び合い」
 - 「学生や教員・職員」が「地域住民等」から学ぶ
 - 「地域住民等」が「教員・職員や学生」から学ぶ
 - 地域の中で多様な主体が相互に「学び合い」

地域での学びと教育の創生に必要な「協働」

- (1) 目的を共有し合うこと
- (2) 対等な関係
- (3) 互いに違いを尊重すること
- (4) 十分な対話
- (5) 相互に頻繁に報告・連絡・相談
- (6) 相乗効果を生み自己変革すること
- (7) 互いに経営資源を出して適切な役割分担
- (8) 情報発信力で協力者を広げること
- (9) 事業実施後の継続性を確保すること
- (10) 相互評価や市民評価をすること

2. 人が育み、仕事を育み、地域を育む 2021年度「売木村・愛知東邦大学 学び合い協働事業」

売木村・愛知東邦大学学び合い協働事業①

● 複数の「学び合い」事業を「協働」で実施①

➤ 共有目的

- 長野県売木村の目的

- ✓「売木村の地域人材（現在と未来）育成と地域活性化」

- 愛知東邦大学の目的

- ✓「愛知東邦大学の教育と地域貢献」

➤ 事業期間：2021年度（企画：2019年度、コロナ禍延期）

➤ 事務形態：売木村から愛知東邦大学への委託事業

売木村・愛知東邦大学学び合い協働事業②

● 複数の「学び合い」事業を「協働」で実施②

① 売木村 寄附講座「地域振興論」

② 売木村・愛知東邦大学 「包括連携協定締結式」

③ 愛知東邦大学 「公開講座 in 売木村」

④ 売木村創生シンポジウム

～ 売木人財発掘・学び合いをめざして～

⑤ 売木人財発掘・学び合いプロジェクト（授業「専門プロジェクト」）
はコロナ禍で中止（④に変更）

⑥ 「売木村創生フィールドワーク」は中止

売木村・愛知東邦大学学び合い協働事業③

● 売木村寄附講座「地域振興論」(前期4～7月)①

➤ 共有目的

- 売木村の住民・関係者による「地域振興の実践成果」を学生に提供することで、教育・人材育成を図る
- 学生の学びを通じて、直接・間接的に売木村の人材創出や地域振興につなげる

➤ オムニバス形式で様々な分野・テーマで実践的講義

- 売木村で地域振興に取り組む実務家講師(12名)
- 愛知東邦大学担当教員(今瀬政司)

売木村・愛知東邦大学学び合い協働事業④



売木村・愛知東邦大学学び合い協働事業⑤

● 売木村寄附講座「地域振興論」(前期4～7月)②

- 地域振興の概論／総括 愛知東邦大学担当教員 今瀬政司
- 「600人の村づくり」 売木村村長 清水秀樹
- 「村と大学」 売木村地域振興アドバイザー(愛知大学うるぎ分室) 黍嶋久好
- 「レジャー」 星の森オートキャンプ場(1ターン) 永瀬憲一
- 「地域おこし活動」 地域おこし協力隊(1ターン) 森山晴佳
- 「走る村プロジェクト」 村役場職員(ウルトラマラソンランナー) 重見高好
- 「農業」 農業生産法人ネットワークうるぎ 後藤俊文
- 「観光」 (株)百匹目の猿(元地域おこし協力隊、1ターン) 能見奈津子
- 「山村留学」 山村留学センター(元地域おこし協力隊) 市川太郎
- 「農と食」 TAKARAチーズ工房(株)(1ターン) 後藤宝
- 「地域デザイン」 合同会社メグリブ(元地域おこし協力隊、1ターン) 伊藤隆子
- 「地域のマスコミ」 南信州新聞社 河原俊文
- 「村の議会」 売木村議会議長 後藤和彦

売木村・愛知東邦大学学び合い協働事業⑥



売木村・愛知東邦大学学び合い協働事業⑦

● 売木村・愛知東邦大学「包括連携協定締結式」

➤ 日程：2021年11月20日

➤ 会場：売木村文化交流センター「ぶなの木」



売木村・愛知東邦大学学び合い協働事業⑧

● 愛知東邦大学「公開講座 in 売木村」

- 共有目的: 売木村の地域人材育成や地域活性化等
- 開催日: 2021年11月20日(参加費: 無料)
- 会場: 売木村文化交流センター「ぶなの木」
- 主催: 売木村、愛知東邦大学
- 内容: 愛知東邦大学教員が売木村に出張して
売木村の住民等向けに「公開講座」を開催
(愛知東邦大学の学生も同時に受講)
- テーマ: 「全国各地の災害避難・救援の教訓からの学び」
- 講師: 愛知東邦大学経営学部准教授 今瀬政司

売木村・愛知東邦大学学び合い協働事業⑨



東日本大震災（写真：今瀬政司）

売木村・愛知東邦大学学び合い協働事業⑩

- 売木村創生シンポジウム -売木人財発掘・学び合いをめざして-
 - 共有目的: 売木村の住民・関係者が一層「学び合う」ことで人財発掘・育成、地域活性化への取組み創出を図る
 - 開催日: 2021年11月20日(公開、参加費: 無料)
 - 会場: 売木村文化交流センター「ぶなの木」
 - 主催: 売木村、愛知東邦大学
 - 内容: 「人財発掘・育成」をテーマに参加型円卓会議を実施
 - ・ 売木村寄附講座「地域振興論」講師の問題課題提起
 - ・ 村役場の関係各課課長による現状・取組み報告
 - ・ 売木村(村長、議会議長・議員、村民)と愛知東邦大学(理事長、学長、教員、学生)の双方関係者が議論

売木村・愛知東邦大学学び合い協働事業⑪



売木村・愛知東邦大学学び合い協働事業⑫

● 「学び合い」と「協働」の観点から事業の振返り①

- 「学び合い協働」を事業テーマ自体に掲げる
 - ・「目的共有」「対等性」「相互性」を重視
- コロナ禍で実施日程・方法等を柔軟に繰り返し変更
 - ・「対話」「報告・連絡・相談」「役割分担」を十分に
- 趣旨・目的や姿勢で双方ブレずに取り組み
 - 形だけの成果でなく実のある具体的成果をめざす
 - 取り組み過程で「信頼関係」を構築
 - 優れたコーディネーターが存在（売木村アドバイザー）

売木村・愛知東邦大学学び合い協働事業⑬

● 「学び合い」と「協働」の観点から事業の振り返り②

- ホームページや新聞・雑誌等で取組情報の継続発信
 - 「相互評価や市民評価」にもつなげる
- 残された今後の波及課題（事業の進め方等）
 - 「違いの尊重」「自己変革」の観点で調整が課題

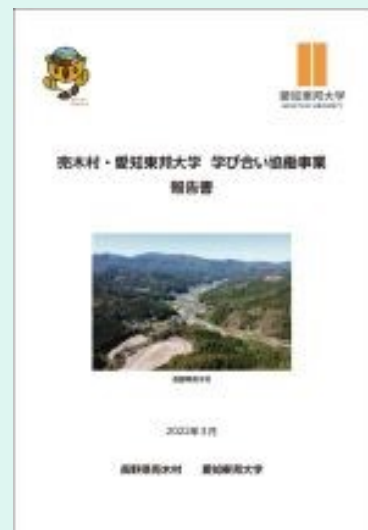
売木村・愛知東邦大学学び合い協働事業⑭

●『売木村・愛知東邦大学 学び合い協働事業 報告書』

➤発行：長野県売木村、愛知東邦大学



愛知東邦大学
AICHI TOHO UNIVERSITY



➤発行日：2021年3月15日 頁数：全229頁

➤電子版：「[売木村・愛知東邦大学 学び合い協働事業 ホームページ](http://sicnpo.jp/imase-aichi_toho/urugi_kyoudou.html)（今瀬研究室）」ダウンロード

http://sicnpo.jp/imase-aichi_toho/urugi_kyoudou.html

http://sicnpo.jp/imase-aichi_toho/

3. 「人が育み、仕事を育み、地域を育む 学び合いと協働」での3つの提言

人が幸せになる大学の創生をめざして

※「第2回教育創生フォーラム」今瀬資料より

●「大学」は何のために存在しているのか

➤最高学府たる大学の「社会的存在意義」は何か



●学びと研究の成果を活かして人が幸せになるため

➤人が学んで成長するため(学び甲斐を求める)

➤学びの成果を社会(仕事や生活等)で活かすため

➤研究の成果を社会(人)と教育に活かすため

●この原点がブレると、大学の社会的価値はなくなる

人が育み、仕事を育み、地域を育む学び合いと協働①

●「人が育み、仕事を育み、地域を育む学び合いと協働」 の創生をめざして議論・提言

➤ 10年後の地域社会・地域経済を承継する

「若者」(大学生・高校生等)が

「地域」での実践学習で

自らを育むと共に、

地域の仕事を育むための

「学び合いと協働」の場と仕組みの創り方

人が育み、仕事を育み、地域を育む学び合いと協働②

【論点1】“若者が自らを育む”地域と大学・学校の
「学び合いと協働」の場や仕組みの創り方

【提言1】地域と大学の「協働事業」の文理融合の推進

【論点2】“若者が仕事を育む”地域と大学・学校の
「学び合いと協働」の場や仕組みの創り方

【提言2】大学による卒業生の起業・社会的課題解決の支援

【論点3】“若者が地域を育む”地域と大学・学校の
「学び合いと協働」の場や仕組みの創り方

【提言3】地域と大学の協働事業成果の発展的展開支援制度

人が育み、仕事を育み、地域を育む学び合いと協働③

【提言1】地域と大学の「協働事業」の文理融合の推進

- 文理横断・文理融合教育の推進が求められている
 - 大学・学校内の取組みが中心
- 地域連携や産学官連携の発展が求められている
 - 「理系」学問と「工業系」企業の連携が中心
 - 「文系」学問と自治体,NPO,「商業系」企業の連携が中心



● 地域と大学の「協働事業」の文理横断・文理融合推進

- 文理・地域・業種の横断・融合の「協働事業」推進
(地域づくり、共同研究、寄附講座、インターンシップ等)
- 教員・研究者のT字型活動(専門性かつ文理横断)の推進

人が育み、仕事を育み、地域を育む学び合いと協働④

【提言2】大学による卒業生の起業・社会的課題解決の支援

- 従来の起業や社会的課題解決の授業・プロジェクト
 - ビジネスコンテストは単なるアイデアに留まる一部傾向
 - アイデアは実践して社会で成果を求めてこそ意味がある
 - 高校や専門学校と異なる大学特性が不十分な一部傾向
 - 最高学府たる学習成果に十分に基づかない一部傾向



- 大学による卒業生の起業・社会的課題解決活動支援
 - 学習成果(卒業論文等)に基づく提案方策の実現化支援
 - 卒業生社会活動基金の創設(寄附募集等)

人が育み、仕事を育み、地域を育む学び合いと協働⑤

【提言3】地域と大学の協働事業成果の発展的展開支援制度

- 地域と大学の包括連携協定等が一部形骸化傾向
- 地域連携事業は補助金等終了後に一部消滅傾向
- 人材育成や地域づくりは「実効性」「継続性」が重要



- 地域と大学の協働事業成果の「発展的展開」支援制度
 - 補助金等の「企画評価」から「成果評価」への一部転換
 - 優れた成果を発揮した協働事業に対する
「発展的展開」への補助金等の支援制度の創設